

# 学習者の声 聴いていますか？

日程

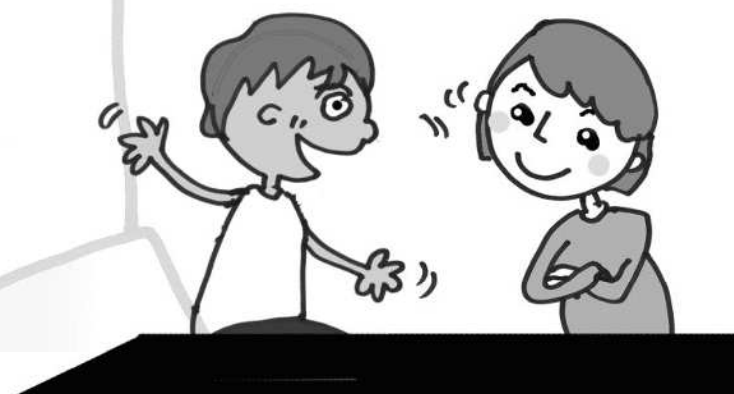
**12/3(土)13:00~16:30**

開催場所:オンライン / 名古屋国際センター別棟ホール

(地下鉄桜通線「国際センター駅」/「名古屋駅」徒歩)

**対象:**日本語学習支援活動に携わっている人/関心のある人

**定員:**オンライン90名 / 会場30名(会場視聴)



**主催:** 東海日本語ネットワーク  
(公財)名古屋国際センター

## 開催趣旨

新型コロナウイルスの影響で、地域日本語教室のボランティアからは「学習者が減った」「日本語教室が閉鎖された」「オンラインでの教室活動に苦勞している」などの声が届いています。研修会やシンポジウムなどを通してこのようなボランティアの声を共有してきましたが、肝心の学習者の声はどこまで聴けているでしょうか。ようやく対面での教室活動が再開されつつある状況の中で、本年度は実際に教室に通う様々な学習者の「声」を聴くとともに、学習者の声を聴きだす工夫について一緒に考えたいと思います。

## プログラム

※敬称略

**主催者挨拶** 酒井 美賀(東海日本語ネットワーク 代表)  
古川 直樹(公益財団法人名古屋国際センター 理事長)  
総合司会 : 加藤 智恵子(東海日本語ネットワーク)

**基調講演** ~サードプレイスとしての日本語教室~

講師 : 深江 新太郎 (NPO多文化共生プロジェクト 代表)

**パネルディスカッション** ~みんなの「声」がにつながる「場」~

コーディネーター : 牧野 佳奈子(一般社団法人 DiVE.tv 代表理事)

報告1 : 木村 成那 (JUNTOS 副代表)

報告2 : 松本 里美 (NPO法人 シェイクハンズ 代表理事)

報告3 : 新美 純子 (公益社団法人 トレイディングケア 代表)

ゲスト : 学習者(子ども・大人)と保護者

## 閉会挨拶

**申込期間** 令和4年11月1日(火) 10時 ~ 11月20日(日) 17時  
(上記期間以外の申込はお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。)

**申込方法** ・名古屋国際センターのウェブサイトからお申し込みください。  
・E-mailでの申し込みも受付します。E-mailの場合、「氏名/フリガナ/TEL/メールアドレス/所属/TNN会員・非会員/参加方法(オンライン/名古屋国際センターでの参加)」の各項目をお知らせください。  
※先着順。定員になり次第、受付終了。  
※メールでの申し込みの際の件名は「日本語ボランティアシンポジウム申込」と表記



**申込・問合せ** 公益財団法人名古屋国際センター 交流協力課  
TEL: (052)581-5689(問合せのみ)  
E-mail: seminar-vol@nic-nagoya.or.jp  
Web: <https://www.nic-nagoya.or.jp>